



平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月6日

上場取引所 東

上場会社名 東邦化学工業株式会社

コード番号 4409 URL <http://www.toho-chem.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 中崎 龍雄

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経理本部長

(氏名) 井上 豊

TEL 03-5550-3735

四半期報告書提出予定日 平成27年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	31,192	11.9	206	0.0	161	△60.6	△82	—
26年3月期第3四半期	27,887	4.7	206	△75.9	410	△27.9	162	△44.0

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 235百万円 (△71.0%) 26年3月期第3四半期 811百万円 (140.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	△3.88	—
26年3月期第3四半期	7.61	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第3四半期	46,749	10,247	21.7
26年3月期	45,250	10,248	22.5

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 10,166百万円 26年3月期 10,171百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	6.00	6.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	6.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	41,500	9.2	360	11.0	500	△34.8	190	△54.0	8.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(平成27年2月6日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期3Q	21,350,000 株	26年3月期	21,350,000 株
27年3月期3Q	16,193 株	26年3月期	15,621 株
27年3月期3Q	21,334,108 株	26年3月期3Q	21,334,496 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の我が国経済は、基調的には緩やかな回復が続きました。設備投資は、企業収益の改善に伴い増加傾向となり、個人消費は、一部に消費税率引き上げに伴う影響がみられるものの、雇用・所得環境の改善を背景に底堅く推移しました。また、公共投資も高水準で推移しました。

伸び悩んでいた輸出も、米国を中心とした海外経済の回復により、徐々に持ち直しの動きがみられました。

しかし、依然として各地の地政学リスクや欧州経済の債務問題、暴落した原油価格の今後の影響などのリスク要因があり、今後も楽観を許さない環境が続くことが予想されます。

このような環境下、当社グループの事業の概況は、売上面は、製品需要が全般的に底堅く推移し増収となりました。その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比33億5百万円、11.9%増収の311億92百万円となりました。

しかし、損益面は、当社本体の個別業績は増益基調ながら、連結業績は、当連結会計年度より商業生産を開始した東邦化学(上海)有限公司での、主要製品のユーザー評価の完了・出荷の遅れと経費負担の増加の影響から、遺憾ながら低調な実績となりました。その結果、当第3四半期連結累計期間の損益は、営業利益が2億6百万円(前年同期比0百万円増益)、経常利益が1億61百万円(前年同期比2億48百万円減益)、四半期純損失が82百万円(前年同期は四半期純利益1億62百万円)となりました。

セグメント別の状況は次のとおりです。

(界面活性剤)

トイレタリー用界面活性剤は、ヘアケア用基剤や一般洗剤が伸長し大幅な増収となりました。プラスチック用界面活性剤は、乳化重合剤が伸長したものの、主力の帯電防止剤が振るわず若干の減収となりました。土木建築用薬剤は、国内向けはアスファルト関連向けなどが低調でしたが、海外販売が伸長し、増収を確保しました。紙パルプ用界面活性剤は、消泡剤等が振るわず減収となりました。繊維助剤は、海外向けが伸長し増収となりましたが、農薬助剤は、逆に海外向けが落ち込み減収となりました。

その結果、当セグメントの売上高は、前年同期比14億3百万円、9.3%増収の164億31百万円となり、セグメント利益は、前年同期比94百万円増益の5億56百万円となりました。

(樹脂)

石油樹脂は、大口ユーザー向けの販売増により増収となりました。合成樹脂は、断熱フォーム用ウレタン樹脂は伸長したものの、土木関連や接着剤用向け樹脂などの販売減により、減収となりました。樹脂エマルションは、フロアポリッシュは低調でしたが、金属表面処理剤の需要回復により増収となりました。

その結果、当セグメントの売上高は、前年同期比25百万円、0.9%増収の27億80百万円となり、セグメント損失は、22百万円(前年同期はセグメント損失2百万円)となりました。

(化成品)

合成ゴム・ABS樹脂用ロジン系乳化重合剤は、国内外の販売が共に順調に推移し大幅な増収となりました。石油添加剤は、燃料添加剤の落ち込みから減収となりました。金属加工油剤は、切削油関連が堅調に推移し増収となりました。

その結果、当セグメントの売上高は、前年同期比9億円、22.2%増収の49億63百万円となり、セグメント利益は、86百万円(前年同期はセグメント損失48百万円)となりました。

(スペシャリティーケミカル)

溶剤は、電子材料用、医薬品製造用が振るわなかったものの、一般溶剤やブレーキ液用が伸長し増収となりました。電子・情報産業用の微細加工用樹脂は、新規開発製品、既存製品が共に堅調に推移し大幅な増収となりました。アクリレートは、海外向けの電子情報材料用の需要回復により、増収となりました。

その結果、当セグメントの売上高は、前年同期比9億74百万円、16.3%増収の69億43百万円となり、セグメント利益は、69百万円(前年同期はセグメント損失1億29百万円)となりました。

なお、東邦化学(上海)有限公司の業績につきましては、同社の事業立ち上げが間もなく、未だ本格稼働には至っておりませんので、上記、セグメント別の状況には含まれておりません。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、467億49百万円と前期末比14億99百万円の増加となりました。その内訳は、流動資産が18億22百万円増加の248億2百万円、固定資産が3億23百万円減少の219億46百万円です。

流動資産の主な増減要因は、現金及び預金が2億93百万円の増加、受取手形及び売掛金が14億70百万円の増加、たな卸資産が88百万円の増加です。

固定資産の主な増減は、有形固定資産が6億16百万円の減少、投資その他の資産が3億6百万円の増加です。

一方、負債合計は365億1百万円と前期末比15億円の増加となりました。主な増減要因は、流動負債で、支払手形及び買掛金が11億83百万円の増加、短期借入金が4億61百万円の増加、固定負債で、長期借入金が5億45百万円の減少、退職給付に関する会計基準等の改正に伴う退職給付債務の見直しにより、退職給付に係る負債が2億77百万円の増加です。

純資産は、102億47百万円と前期末比1百万円の減少となりました。主な増減要因は、利益剰余金が、配当金の支払いと四半期純損失及び退職給付に係る負債の増加に対応した利益剰余金の期首残高調整により、3億19百万円の減少、その他の包括利益累計額が3億14百万円の増加です。

その結果、自己資本比率は21.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、当連結会計年度より商業生産を開始した東邦化学(上海)有限公司の業績が、主要製品のユーザー評価の完了・出荷の大幅な遅れから営業損失の拡大が見込まれ、営業利益は前回予想を下回る見通しです。一方、経常利益及び当期純利益は、東邦化学(上海)有限公司において、外貨建債務に係わる為替差益(約4億円)が発生し、通期業績の営業外収益に反映される見込みであり、前回予想を上回る見通しです。

なお、個別業績予想につきましては、売上高が若干の修正となりますが、利益面の修正はありません。

その結果、平成26年11月7日付「平成27年3月期第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」で公表いたしました平成27年3月期の連結・個別業績予想を修正しております。

なお、本修正に関しましては、別途、本日(平成27年2月6日)付「業績予想の修正に関するお知らせ」において公表しておりますのでご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法を割引率の基礎となる債券の期間について従業員の平均残存勤務期間に近似した年数を基礎に決定する方法から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第3四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が1億67百万円増加し、利益剰余金が1億8百万円減少しております。なお、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,093	4,387
受取手形及び売掛金	9,273	10,743
たな卸資産	8,719	8,807
その他	893	864
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	22,980	24,802
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,804	8,470
機械装置及び運搬具(純額)	4,408	4,067
土地	3,281	3,281
建設仮勘定	120	375
その他(純額)	1,643	1,448
有形固定資産合計	18,259	17,643
無形固定資産	931	918
投資その他の資産	3,078	3,384
固定資産合計	22,270	21,946
資産合計	45,250	46,749

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,589	8,773
短期借入金	5,959	6,421
1年内償還予定の社債	1,020	120
未払法人税等	81	45
賞与引当金	335	136
その他	2,056	2,570
流動負債合計	17,043	18,067
固定負債		
社債	4,900	5,800
長期借入金	8,432	7,887
役員退職慰労引当金	121	102
退職給付に係る負債	3,194	3,472
資産除去債務	56	57
その他	1,252	1,114
固定負債合計	17,958	18,434
負債合計	35,001	36,501
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,755	1,755
資本剰余金	896	896
利益剰余金	6,259	5,940
自己株式	△3	△4
株主資本合計	8,907	8,587
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	488	691
為替換算調整勘定	839	943
退職給付に係る調整累計額	△63	△55
その他の包括利益累計額合計	1,264	1,579
少数株主持分	76	80
純資産合計	10,248	10,247
負債純資産合計	45,250	46,749

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	27,887	31,192
売上原価	24,233	27,555
売上総利益	3,654	3,636
販売費及び一般管理費	3,447	3,430
営業利益	206	206
営業外収益		
受取利息	2	2
受取配当金	37	43
為替差益	405	122
その他	71	95
営業外収益合計	517	263
営業外費用		
支払利息	235	226
その他	78	82
営業外費用合計	313	308
経常利益	410	161
特別損失		
固定資産廃棄損	30	26
特別損失合計	30	26
税金等調整前四半期純利益	380	135
法人税等	219	216
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	160	△81
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△1	1
四半期純利益又は四半期純損失(△)	162	△82

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	160	△81
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	252	202
為替換算調整勘定	398	106
退職給付に係る調整額	-	7
その他の包括利益合計	650	316
四半期包括利益	811	235
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	803	231
少数株主に係る四半期包括利益	7	3

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	界面 活性剤	樹脂	化成品	スペシャ リティー ケミカル	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	15,027	2,755	4,062	5,968	27,814	73	27,887	—	27,887
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	157	157	△157	—
計	15,027	2,755	4,062	5,968	27,814	230	28,044	△157	27,887
セグメント利益 又は損失(△)	461	△2	△48	△129	280	44	325	△118	206

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、環境調査測定・分析及び物流倉庫業務等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△118百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△235百万円及び棚卸資産の調整額76百万円等が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない東邦化学(上海)有限公司に係る費用等であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書計上額の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	界面 活性剤	樹脂	化成品	スペシャ リティー ケミカル	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	16,431	2,780	4,963	6,943	31,118	74	31,192	—	31,192
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	144	144	△144	—
計	16,431	2,780	4,963	6,943	31,118	218	31,337	△144	31,192
セグメント利益 又は損失(△)	556	△22	86	69	689	40	730	△523	206

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、環境調査測定・分析及び物流倉庫業務等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△523百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△591百万円及び棚卸資産の調整額19百万円等が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない東邦化学(上海)有限公司に係る費用等であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書計上額の営業利益と調整を行っております。